

幸せなひとりぼっち

En man som heter Ove

上映時間 116 分

『幸せなひとりぼっち』（しあわせなひとりぼっち、En man som heter Ove）は 2015 年のスウェーデンのコメディドラマ映画（英語版）。妻を亡くし、職も失って生きる希望をなくした 59 歳の偏屈で孤独な男が近所に越してきたイラン人女性とその家族との交流を通じて再生していく姿をユーモアを交えて描いている。フレドリック・バックマン（スウェーデン語版）の 2012 年の同名小説（スウェーデン語版）を原作としたハンネス・ホルム監督作品で、出演はロルフ・ラッスゴード（スウェーデン語版）とバハール・パルス（スウェーデン語版）など。第 89 回アカデミー賞では外国語映画賞とメイクアップ&ヘアスタイリング賞にノミネートされた（受賞はならず）。

監督 ハンネス・ホルム 脚本 ハンネス・ホルム

原作フレドリック・バックマン（スウェーデン語版）『幸せなひとりぼっち』

ストーリー

最愛の妻ソーニャを亡くしたばかりの 59 歳の男オーヴェは、ロウるさい偏屈な老人として近所から煙たがられている存在である。ある日、43 年勤め続けた鉄道会社をクビになったオーヴェは、生きる希望を失い、首をつって死のうとするが、向かいに越してきたイラン人女性パルヴァネとその家族の騒々しさに自殺を邪魔をされてしまう。以降も、陽気な彼女の遠慮のない言動に何度も自殺を邪魔されたオーヴェは彼女の存在を疎ましく思うが、彼女とその家族と接するうちに徐々に心境に変化が生まれてくる。その一方で、オーヴェは幼い日の亡き父との慎ましくも穏やかだった生活や若き日のソーニャとの運命的な出会い、彼女との幸せな日々、そして 2 人に起きた悲劇を思い出す。

キャスト

オーヴェ: ロルフ・ラッスゴード（スウェーデン語版） - 59 歳のスウェーデン人男性。鉄道会社のベテラン整備工。 若年期: フィリップ・バーグ（スウェーデン語版）

ソーニャ: イーダ・エングヴオル（スウェーデン語版） - オーヴェの半年前に亡くなった妻。元教師。

パルヴァネ: バハール・パルス（スウェーデン語版） - イラン人女性。スウェーデン人の夫との間に 2 女を持ち、3 人目の子を妊娠中。

作品の評価

本国スウェーデンでは同時期に公開された『スター・ウォーズ/フォースの覚醒』を抑えて、ボックスオフィスのトップとなり、160 万人を越える動員（スウェーデン国民の約 5 人に 1 人）を記録してスウェーデン映画史上歴代 3 位となる興行成績を樹立した他、ボックスオフィスで 5 週連続 1 位を記録し、ロコミでの評判で 5 ヶ月を超えるロングランとなった。

また、スウェーデンの映画賞であるゴールデン・ビートル賞で主演のロルフ・ラッスゴード（スウェーデン語版）が本人にとって 2 度目となる主演男優賞（スウェーデン語版）を受賞した他、第 89 回アカデミー賞では外国語映画賞とメイクアップ&ヘアスタイリング賞にノミネートされた（受賞はならず）。